

## 第一回 東京学芸大学数学科同窓会 を開催しました

11月3日(土)に東京学芸大学におきまして、第一回 東京学芸大学数学科同窓会が開催されました。

様々な校種の現役の先生方をはじめ、ご退職された先生方、民間企業にお勤めの方、島根県や奈良県の遠方から来られた方など、職種地域を問わず、多くの方々にご参加いただきました。参加者の合計は、総会・講演会が64名、懇親会が56名となりました。

当日は、総会、講演、懇親会が行われました。総会では、本会の規約、会長副会長の承認が行われ、会長は楠本善之助氏、副会長は太田伸也氏、杉田博之氏に決定いたしました。本会の規約および役員、常任幹事につきましては、本会ホームページ「同窓会について」内の「組織・役員」をご参照ください。

その後、本校の卒業生でもある教育政策研究所教育課程調査官 笠井健一先生よりご講演をいただきました。笠井先生のご講演では、小学校算数から高校数学までの次期学習指導要領におけるお話をいただきました。講演の中では、具体的な事例をもとに、今後育成していきたい見方・考え方を伸ばす算数・数学の指導法についてもご指導いただきました。

懇親会では、皆様当時の思い出から日頃の業務の話まで共通点をもって語り合うことができました。学生時代の友人から、仕事上の繋がりをもった人など、現役の学部生・院生も含めて、和気あいあいとした二時間となりました。

お忙しい時期にもかかわらずご参加いただきました皆様、ありがとうございました。そして、準備・運営に携わってくださった準備委員の先生方、大学院生の皆様、ありがとうございました。

次回の同窓会は来年の学園祭の時期に開催予定です。